

Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2024年7月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）」は、2024年7月25日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	2021年7月20日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）	・RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）の受益証券
	RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	・金地金価格への連動を目指すETF
主な投資制限	Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし）	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		投資信託 組入比率	純資産額
		税分	込配		
(設定日)	円		円		百万円
2021年7月20日	10,000		—	—	51
1期(2022年7月25日)	11,682		0	16.8	234
2期(2023年7月25日)	13,539		0	15.9	453
3期(2024年7月25日)	17,837		0	31.7	2,326

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2023年7月25日	円 13,539		% —	% 97.8
7月末	13,514	△	0.2	99.5
8月末	13,889		2.6	96.2
9月末	13,658		0.9	97.7
10月末	14,593		7.8	96.7
11月末	14,695		8.5	98.8
12月末	14,322		5.8	97.7
2024年1月末	14,688		8.5	99.0
2月末	14,988		10.7	97.0
3月末	16,400		21.1	96.8
4月末	17,814		31.6	96.9
5月末	17,819		31.6	96.9
6月末	18,169		34.2	99.7
(期末) 2024年7月25日	円 17,837		% 31.7	% 98.8

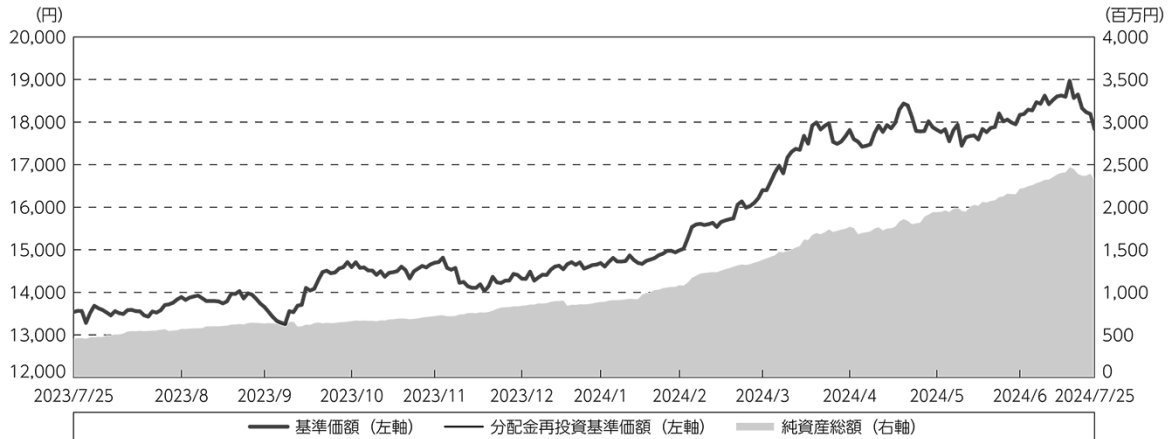
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年7月26日～2024年7月25日)

期中の基準価額等の推移



期 首：13,539円

期 末：17,837円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 31.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年7月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

金価格が上昇し、為替が円安米ドル高基調となったことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

金市況

金価格は、前期末と比較して上昇しました。米10年国債利回りが上昇したことを背景に、金利のつかない金の投資魅力は低下し、金価格は下落する場面もみられましたが、その後は、中東地域・ウクライナ情勢など地政的な不確実性が残るなか、中国など新興国地域の中央銀行を中心に外貨準備として金保有を増やす動きが進み、安全資産としての底堅い需要から金価格は上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドルに対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は緩和的な金融政策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

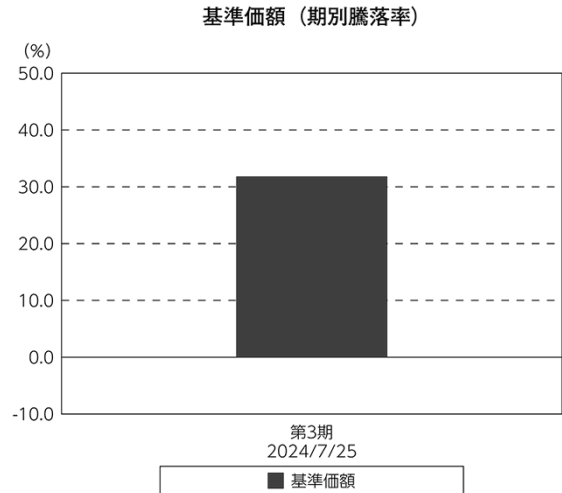
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり・税込み)

項 目	第3期
	2023年7月26日～ 2024年7月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,836

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月26日～2024年7月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	42	0.275	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.127)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.126)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(4)	(0.029)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.041	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	52	0.346	
期中の平均基準価額は、15,379円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

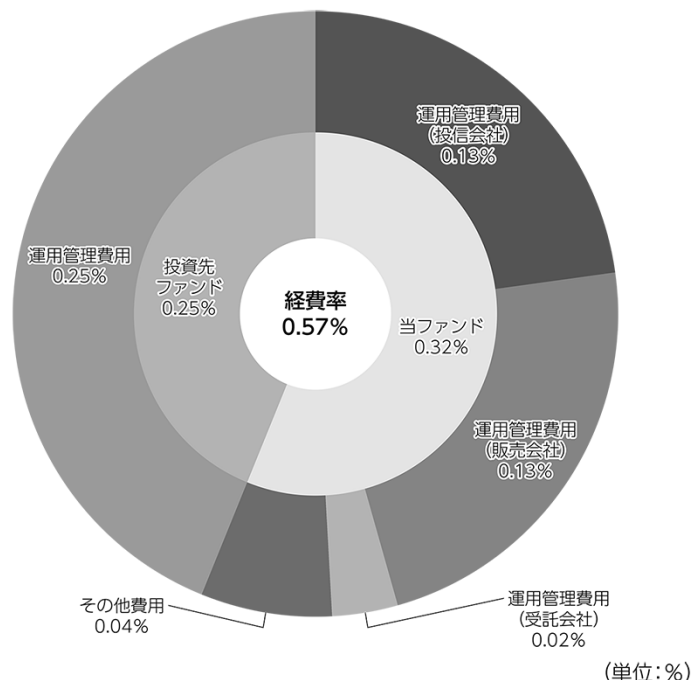
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.57%です。



経費率(①+②)	0.57
①当ファンドの費用の比率	0.32
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、マザーファンドが組入れているETF（上場投資信託証券）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月26日～2024年7月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）		1,240,255	2,027,047	276,067	446,507

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月26日～2024年7月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月26日～2024年7月25日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年7月26日～2024年7月25日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2024年7月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	330,517	1,294,705	2,342,381

○投資信託財産の構成

(2024年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）	千円 2,342,381	% 99.3
コール・ローン等、その他	17,617	0.7
投資信託財産総額	2,359,998	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）において、当期末における外貨建純資産（2,314,727千円）の投資信託財産総額（2,342,337千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=153.36円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年7月26日～2024年7月25日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月25日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,359,998,975
コール・ローン等	17,617,877
RMゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)(評価額)	2,342,381,094
未収利息	4
(B) 負債	33,984,576
未払解約金	31,713,105
未払信託報酬	2,217,460
その他未払費用	54,011
(C) 純資産総額(A-B)	2,326,014,399
元本	1,304,042,700
次期繰越損益金	1,021,971,699
(D) 受益権総口数	1,304,042,700口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,837円

(注) 当ファンドの期首元本額は335,077,362円、期中追加設定元本額は1,680,194,041円、期中一部解約元本額は711,228,703円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.7837円です。

○損益の状況 (2023年7月26日～2024年7月25日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,299
受取利息	372
支払利息	△ 1,671
(B) 有価証券売買損益	194,985,878
売買益	302,281,061
売買損	△ 107,295,183
(C) 信託報酬等	△ 3,216,692
(D) 当期損益金(A+B+C)	191,767,887
(E) 前期繰越損益金	12,962,387
(F) 追加信託差損益金	817,241,425
(配当等相当額)	(193,527,112)
(売買損益相当額)	(623,714,313)
(G) 計(D+E+F)	1,021,971,699
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,021,971,699
追加信託差損益金	817,241,425
(配当等相当額)	(193,570,740)
(売買損益相当額)	(623,670,685)
分配準備積立金	204,730,274

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(240,231円)、費用控除後の有価証券等損益額(191,527,656円)、信託約款に規定する収益調整金(817,241,425円)および分配準備積立金(12,962,387円)より分配対象収益は1,021,971,699円(1万口当たり7,836円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

- ・「受益権の申込単位および価額」、「信託契約の一部解約」の各条文について、指定販売会社における投資者からの申込形態を考慮して誤解を招くことのない文言とするため、約款に所要の変更を行いました。(2024年1月17日)

RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）

運用報告書

第3期（決算日 2024年7月25日）
（2023年7月26日～2024年7月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年7月20日から無期限です。
運用方針	①主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ②ETFの組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ③組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要投資対象	・金地金価格への連動を目指すETF
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		騰 落	率		
(設定日)	円		%		百万円
2021年7月20日	10,000		—	—	50
1期(2022年7月25日)	11,768		17.7	95.3	235
2期(2023年7月25日)	13,705		16.5	97.9	452
3期(2024年7月25日)	18,092		32.0	98.1	2,342

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2023年7月25日	13,705		—	97.9
7月末	13,683		△ 0.2	99.7
8月末	14,068		2.6	96.4
9月末	13,835		0.9	97.9
10月末	14,784		7.9	96.8
11月末	14,893		8.7	98.9
12月末	14,491		5.7	97.8
2024年1月末	14,854		8.4	99.2
2月末	15,163		10.6	97.2
3月末	16,611		21.2	96.9
4月末	18,066		31.8	97.1
5月末	18,076		31.9	97.0
6月末	18,433		34.5	99.8
(期 末)				
2024年7月25日	18,092		32.0	98.1

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年7月26日～2024年7月25日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

金価格が上昇し、為替が円安米ドル高基調となったことから、基準価額は上昇しました。



投資環境

金市況

金価格は、前期末と比較して上昇しました。米10年国債利回りが上昇したことを背景に、金利のつかない金の投資魅力は低下し、金価格は下落する場面もみられましたが、その後は、中東地域・ウクライナ情勢など地政的な不確実性が残るなか、中国など新興地域域の中央銀行を中心に外貨準備として金保有を増やす動きが進み、安全資産としての底堅い需要から金価格は上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドルに対して円安となりました。

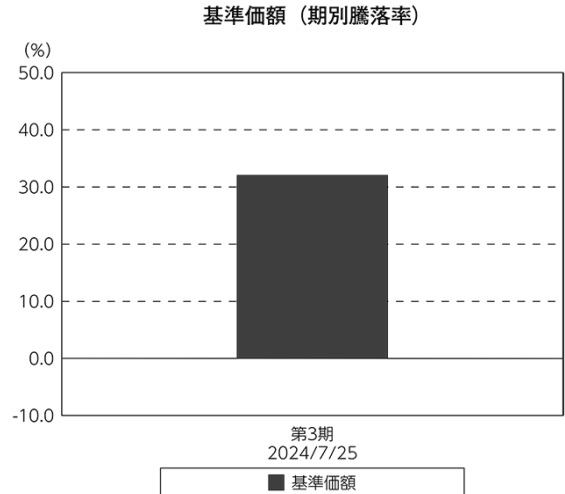
米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は緩和的な金融政策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



○今後の運用方針

引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すETF（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

○1万口当たりの費用明細

（2023年7月26日～2024年7月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.029 (0.029)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.033 (0.033) (0.001)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	10	0.063	
期中の平均基準価額は、15,579円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2023年7月26日～2024年7月25日）

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	口	千米ドル	口	千米ドル
アメリカ				
ISHARES GOLD TRUST	85,500	3,183	170,109	6,473
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	319,055	13,641	3,800	179
小 計	404,555	16,824	173,909	6,653

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

（2023年7月26日～2024年7月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年7月26日～2024年7月25日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2024年7月25日現在）

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES GOLD TRUST	84,609	—	—	—	—
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	—	315,255	14,987	2,298,440	98.1
合 計	口 数 ・ 金 額	84,609	315,255	14,987	2,298,440
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<98.1%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

（2024年7月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,298,440	% 98.1
コール・ローン等、その他	43,897	1.9
投資信託財産総額	2,342,337	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（2,314,727千円）の投資信託財産総額（2,342,337千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=153.36円。

○特定資産の価格等の調査

（2023年7月26日～2024年7月25日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年7月25日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,349,234,312	
コール・ローン等	43,896,795	
投資信託受益証券(評価額)	2,298,440,473	
未収入金	6,897,037	
未収利息	7	
(B) 負債	6,896,700	
未払金	6,896,700	
(C) 純資産総額(A-B)	2,342,337,612	
元本	1,294,705,447	
次期繰越損益金	1,047,632,165	
(D) 受益権総口数	1,294,705,447口	
1万口当たり基準価額(C/D)	18,092円	

(注) 当ファンドの期首元本額は330,517,861円、期中追加設定元本額は1,240,255,085円、期中一部解約元本額は276,067,499円です。

(注) 2024年7月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・Smart-i ゴールドファンド（為替ヘッジなし） 1,294,705,447円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.8092円です。

○損益の状況（2023年7月26日～2024年7月25日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	250,683	
受取利息	258,035	
支払利息	△ 7,352	
(B) 有価証券売買損益	308,921,325	
売買益	311,858,527	
売買損	△ 2,937,202	
(C) 保管費用等	△ 352,157	
(D) 当期損益金(A+B+C)	308,819,851	
(E) 前期繰越損益金	122,460,177	
(F) 追加信託差損益金	786,791,915	
(G) 解約差損益金	△ 170,439,778	
(H) 計(D+E+F+G)	1,047,632,165	
次期繰越損益金(H)	1,047,632,165	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。